

守るけん

あなたの命

耐震化

南海トラフ
巨大地震に
備えて

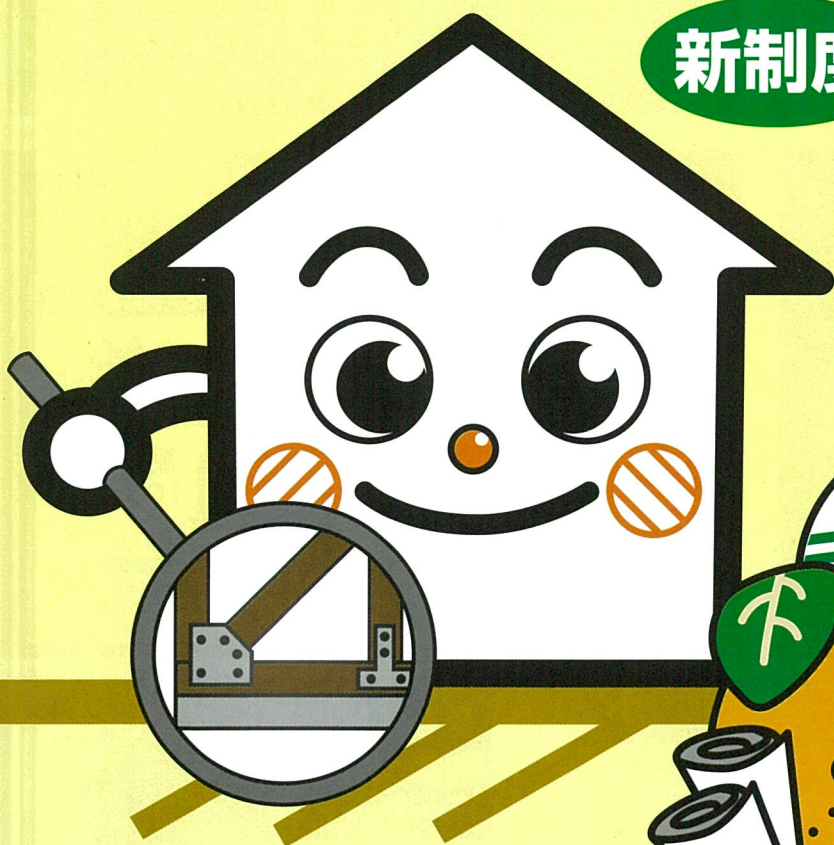
新制度

耐震診断技術者派遣制度

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)

3,000円から
実施可能です

(一部市町を除く。)



診断士派遣
するけん

木造住宅の
耐震診断・耐震改修
県内全市町で補助します。

標準的な場合の補助金

合計 **116万円以上!**

(昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)

愛媛県
建築住宅課



県HP

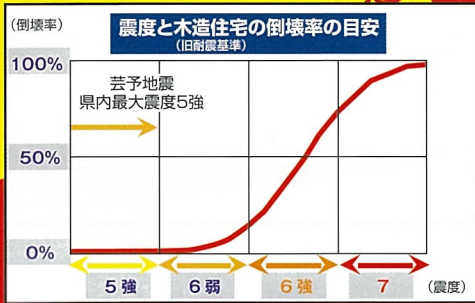
お問い合わせは、お住まいの市役所・役場までお願いします。

耐震改修により倒壊から命を守りましょう!

—耐震診断・耐震改修には補助制度があります—

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造住宅が対象です。

(昭和56年5月以前の着工)
**旧耐震基準の木造住宅は
 震度6強~7の大地震で倒壊する可能性大!**



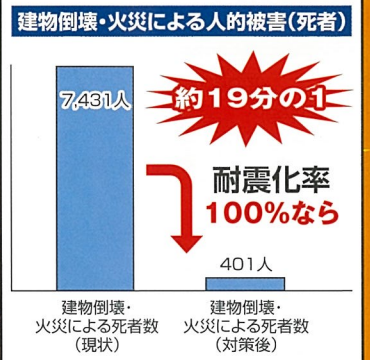
(写真提供:愛媛県)



耐震化による減災効果

~南海トラフ巨大地震に備えて~

1. 建築物被害による死者数の低減
 2. 火災による死者数 (逃げ遅れ)の低減
 3. 救助活動の円滑化
 4. 避難所生活者の減少 (早期の通常生活への復帰)
 5. がれきの発生抑制
- など



耐震診断から耐震改修へ

新制度
耐震診断
 派遣 自己負担額 **3,000円** 又は **9,720円**
 補助 補助上限 **2~6万円** (補助率2/3)

耐震改修設計
 補助上限 **20万円** (補助率2/3)

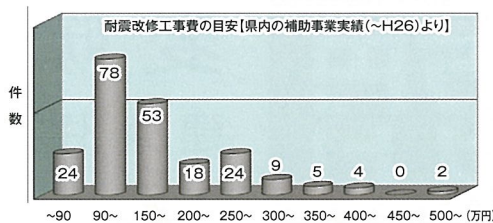
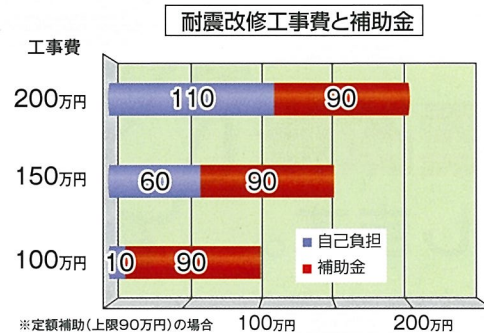
耐震改修工事
 補助上限 **90万円** **大幅拡充!** (定額補助)
 ※90万円までは、全額補助しています。

耐震改修工事監理
 補助上限 **4万円** (補助率2/3)

※上記補助額は、市町により異なりますので、詳細は、補助窓口にお問い合わせをお願いします。

耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、100~150万円程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担額を少なくできます。



実際に補助金を活用して、耐震補強工事を行った人の声

●耐震補強をしようと思ったきっかけ

昨年の秋に、この中古住宅を購入したのですが、たまたまその時に見た広報誌の一角に、耐震工事の補助制度があるというのが載っていたので、あ~なんとか、私も!補助金を活用したい!!って思いました。



●耐震化工事を終えて

大きな安心がありますし、それから、いろいろな部分でとても快適になり、喜んでおります。公的にも後押しをグンとしていただきました。

●みなさんへ

耐震改修工事までは、なかなかおっくうかもしれないけど、お家の状況を知るために、まずは、耐震診断をおすすめします。家のことを考えるきっかけにもなります。

県内各市町の工事業者の要件等 (木造住宅耐震改修工事費補助)

市町名	工事業者等の要件 (H28.4.1時点)					
	愛媛県登録	市町内業者	建設業許可	リフォーム かし保険 加入業者	診断技術者による 工事監理等 (診断事務所兼業の場合は、 自社監理可。)	その他の要件
松山市	○	○	○	○	○	
今治市	○	×	○	○	○	
宇和島市	○	○	×	○	○	
八幡浜市	○	○	○	×	○	
新居浜市	○	○	×	×	○	
西条市	○	○	×	×	○	
大洲市	○	○	×	×	○	
伊予市	○	○	○	○	○	
四国中央市	○	○	○	○	○	
西予市	○	×	○	×	○	
東温市	○	×	×	○	○	(工事業者の追加要件) ①継続して3年以上のリフォーム業者かつ、直近3年以内に5件以上実績 ②建築士等の技術者かつ、3年以上リフォーム工事に従事した経験を持つものが、代表者又は主として工事に従事する事業者
上島町	○	×	×	×	○	
久万高原町	○	×	×	○	○	
松前町	○	×	×	○	○	
砥部町	○	×	○	○	○	
内子町	○	○	○	○	○	
伊方町	○	○	○	○	○	
松野町	○	×	×	○	○	
鬼北町	○	×	×	○	○	
愛南町	○	○	○	×	○	
計	20	11	10	13	20	

○:要件あり
×:要件なし

平成28年度 民間木造住宅耐震化促進事業費の補助制度一覧

(昭和56年5月31日以前に着工された戸建木造住宅が補助対象です。)

※詳しくは、各市町の木造住宅耐震化担当窓口までお願いします。

	耐震診断					改修設計			改修工事・監理					代理受領 制度
	派遣		補助			市町 予算戸 数	補助率	補助上限 (千円/ 件)	工事監理		改修工事			
	市町 予算戸 数	住民 負担	市町 予算戸 数	補助率	補助上限 (千円/ 件)				市町 予算戸 数	補助率	補助上限 (千円/ 件)	補助率	補助上限 (千円/ 件)	
松山市	70	評価 手数料 (※)	50	1/3+ 定額2万	40	85	2/3	200	85	2/3	40	定額	900	○
今治市	10	"	10	2/3	50	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	900	×
宇和島市	20	"	10	2/3	40	7	2/3	200	7	2/3	40	定額	900	○
八幡浜市	10	"	10	2/3	40	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	900	○
新居浜市	15	"	10	2/3	20	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	900	×
西条市	50	"	5	2/3	20	30	2/3	200	30	2/3	40	定額	900	○
大洲市			10	2/3	40	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	1,200	○
伊予市	8	"	10	定額	40			→	7		→	定額	1,140	○
四国中央市	8	"	7	2/3	35	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	900	○
西予市			18	2/3	20			→	6		→	定額	1,140	○
東温市	25	"	5	2/3	20	7	2/3	200	7	2/3	50	定額	900	×
上島町	4	"	1	定額	40	5	2/3	200	5	2/3	40	定額	900	×
久万高原町	5	無料	5	定額	60	5	2/3	200	5	2/3	40	定額	900	×
松前町	20	無料	4	2/3	20	15	-	無料	15	-	無料 (10)	定額	900	×
						4	2/3	200		2/3	40 (5)			
砥部町	10	評価 手数料 (※)	2	2/3	20	5	2/3	200	5	2/3	40	定額	900	×
内子町	10	"	5	2/3	40	10	2/3	200	10	2/3	40	定額	900	○
伊方町			15	2/3	40	5	2/3	200	5	2/3	40	定額	900	×
松野町	2	"	1	2/3	20	3	2/3	200	3	2/3	40	定額	900	×
鬼北町	3	"	2	2/3	20	2	2/3	200	2	2/3	40	定額	900	○
愛南町	10	"	5	2/3	20	1	2/3	200	1	2/3	40	2/3	1,200	○
	280		185			234			243					
	465													

『→』は、改修設計、工事監理費への補助はないが、改修工事への補助金を増額していることを示す。

※住民負担：評価手数料(3,000円又は9,720円)

は28年度制度拡充予定部分を示す。